

まとい

火事・救急・救助は
「119」
町名・目標物を
はっきりと

第218号

編集：桑名市消防本部予防課
発行：桑名防火協会
桑名市危険物安全協会
桑名市大字江場7番地
☎0594-24-0135

秋の火災予防運動

11月9日(水)～11月15日(火)



平成28年度全国統一防火標語



消しましょう
その🔥 その時
その場所で



防火ポスター 入選作品決まる！

桑名市消防本部では管内（桑名市・いなべ市・木曾岬町・東員町）の小・中学校の児童生徒を対象に桑名防火協会・桑名危険物安全協会の協賛事業として毎年防火ポスターを募集しています。

今年度は小学校47校、中学校16校から2496人が参加、その中からそれぞれの学校で選ばれた優秀作品386点の応募がありました。

平成28年10月6日（木）桑名市消防本部において、各市町の教育関係者に審査員をお願いし、審査会を行いました。

その結果84点の作品が入選。平成28年度街頭啓発用防火ポスターには、小学校の部では精義小学校6年藤巻里菜さんの作品が、中学校の部では光風中学校3年谷口直弥さんの作品が選ばれ、管内各所の掲示板等に一年間掲示し、火災予防の啓発に活用させていただきます。



平成28年度 街頭啓発用ポスター

小学校の部



精義小学校6年 藤巻里菜

中学校の部



光風中学校3年 谷口直弥

各賞の入選者は次のとおりです。

市長賞及び町長賞

- | | |
|-----------|-------|
| 精義小学校6年 | 藤巻 里菜 |
| 光風中学校3年 | 谷口 直弥 |
| 木曾岬中学校3年 | 伊藤 諄紀 |
| 員弁西小学校6年 | 三輪 菜月 |
| 北勢中学校1年 | 川瀬 愛結 |
| 東員第一中学校2年 | 石原めぐみ |
- 桑名防火協会会長賞**
- | | |
|-----------|-------|
| 益世小学校6年 | 湯浅 桜子 |
| 明正中学校2年 | 國分 梨聖 |
| 木曾岬中学校1年 | 青木 暖奈 |
| 三里小学校5年 | 鈴木アイコ |
| 北勢中学校1年 | 田尻 沙妃 |
| 東員第二中学校2年 | 日比 琴葉 |

消防長賞

- | | |
|-----------|-------|
| 大山田東小学校5年 | 水野 萌 |
| 光風中学校2年 | 藤巻 菜々 |
| 木曾岬小学校6年 | 五藤 真帆 |
| 白瀬小学校6年 | 近藤 二陸 |
| 員弁中学校1年 | 蛭薙 梨乃 |
| 笹尾西小学校6年 | 佐賀 有紗 |

防火ポスター展示会

- ・11月4日～11月13日
- ・イオンモール東員
- ・11月15日～11月23日
- ・イオンモール桑名

展示会では、左記の作品のほか、入選した優秀賞を含む84点を展示する予定です。また、平成29年2月にも展示会を予定しています。

★平成29年版防火カレンダー

市・町長賞と桑名防火協会会長賞の12作品で平成29年版防火カレンダーを作成します。ご希望の方は消防本部予防課（24）5279まで。 ※申し込みは、11月9日から（枚数に制限がありますので、無くなり次第終了します。）

秋の火災予防運動

（十一月九日から一週間）

★火災予防運動の趣旨

この運動は、空気が乾燥し火災が発生しやすい気候となる時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心に死者の発生

を減少させ、財産の損失を防ぎ、安全安心なまちづくりを目的としています。

桑名防火協会、桑名危険物安全協会では、桑名市消防本部が実施する諸行事に協力するなど地域住民に火災予防を呼びかけています。

★重点目標

- 住宅防火対策の推進
- 放火火災防止対策の推進
- 特定防火対象物における防火安全対策の徹底
- 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
- 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底
- 林野火災予防対策の推進
- 車両火災予防運動の推進

★期間中の主な訓練や行事予定

- 小規模福祉施設等の特定防火対象物への立入検査
- 避難訓練・防火指導
- 高齢者宅の住宅防火診断
- 街頭啓発等による住宅用火災警報器等の設置推進
- 危険物施設等への立入検査
- 火災予防広報の実施

行事、催しのお知らせ

- 桑名市消防出初め式
平成29年1月8日（日）
会場・長島町西川地先（輪中ドーム）

消防通信

暖房器具の安全な取扱いについて

本格的な冬の到来に備え、石油ストーブなどの暖房器具の手入れは万全でしょうか。

★使用前の注意事項

- (1) 初めて使用するとき、十分な点検を行い、故障している場合は、販売店等に修理を依頼する。
 - (2) 取扱説明書をよく読んで、正しい方法で使用する。
 - (3) 給油するときは、古い燃料が残っていないか確認。保管状況にもよりますが、異常燃焼や故障の原因になりやすいので注意しましょう。
 - (4) 燃料タンクのキャップは、確実に締められているか確認する。
- ★使用中の注意事項
- (1) 点火後は、正常に燃焼していることを確認する。

ストーブのまわりに
燃えやすい物がないかの確認を！



- (2) カーテン等がストーブに接触しないように、離れた場所で使用する。
- (3) ストーブの近くに紙、衣類など燃えやすいものを置かない。
- (4) ストーブの周囲や上方に洗濯物を干さない。

ストーブで洗濯物を
乾かすのはやめましょう。



- (5) ストーブの近くでヘアスプレー等を使用したり、近くに放置しない。
- (6) 長時間離れたり、外出等の際には、必ず消火する。

全国消防救助技術大会出場

消防は火災や災害などから住民の生命・身体・財産を守るために日ごろから訓練を行っています。

今年度は8月24日に愛媛県松山市で開催されました全国消防技術大会に桑名市消防本部は三重県代表として、階段などの進入手段のない高所へ二本のロープを利用し、的確に早く登る技術「ロープ応用登はん」に出場し、優秀賞を受賞しました。

この消防救助技術大会は、消防救助技術の研鑽・向上、体力・気力を涵養し、住民の負託に答えられる消防士の育成を目的に行っています。消防隊員は日常から、あらゆる天候や災害現場を想定し、夜間訓練をもいとわず、体力・気力の限界まで消防救助技術の研鑽・練習に努めています。



'16消防体験キッズ

8月6日(土)、小学生を対象に消防の仕事を自ら体験し、防火防災に対する関心や意識を高めていただくことを

目的に

「'16消防体験キッズ」を開催しました。

参加した子供達は、未来の消



防士を目指して、ちびっこレスキュー(ロープ渡過)、はしご自動車に乗って地上40mの世界へ、更には放水訓練など親子で楽しく体験。また女性消防団員に協力を得て実施したAEDの取扱いや訓練や紙芝居による防災学習でも熱心に取り組んでいました。今年も大勢のちびっこが訪れた「'16消防体験キッズ」、消防の仕事と重要性を改めて感じてもらうと思います。



女性消防団員によるAED取扱い訓練

ご自宅の住宅用火災警報器は大丈夫？

もしもの時のために、
住宅用火災警報器を点検しましょう！



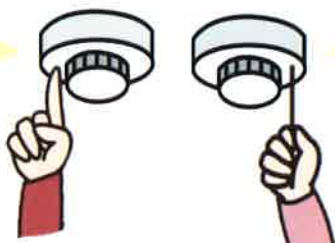
① まずは作動確認をし、音を聞いてみましょう！

ボタンを押す、またはひもを引いて作動確認をします。

正常な場合は？

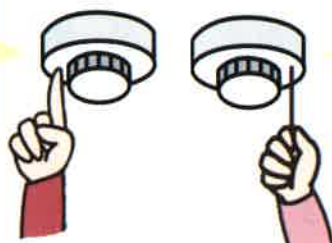
音が鳴らない場合は？

ピー
ピー
ピー



ピー
ピー
ピー
火事です

……



しーん……

正常をお知らせするために、音声や音が鳴ります。

電池切れや故障の異常が疑われます。



音が鳴らなかったら？

② 設置時期を調べましょう。

火災警報器を設置したときに記入した「設置年月」または、本体に記載されている「製造年」を確認してください。



③ 10年経過していたら？

設置から10年以上経過している場合は、電池切れや、本体内部の電子部品の劣化が考えられるため、火災を感知しなくなるなど、とても危険です。

10年を目安に交換をおすすめします。

※お問い合わせは、桑名市消防本部予防課（☎0594-24-5279）へ。